

令和6年度 第2回愛西市地域ケア推進会議 会議録（概要）

会議名称	愛西市地域ケア推進会議
開催日時	令和7年3月18日（火） 午後2時00分から午後3時30分
開催場所	愛西市役所 災害対策本部兼会議室1・2
出席委員	鷺野明美 佐藤和子 山田由子 山内嘉丈 浅野弥生 日高由紀 玉木二美重 東元子 栗畑由紀夫 塚下友里 中田吉樹
欠席委員	落合可奈子 三和田篤 高橋 寛直
事務局	保険福祉部長 田口貴敏、保険福祉部参事 高松潤也、高齢福祉課長 八木久美子、 高齢福祉課 猪飼隆善、城安代、吉松優子、山田里子 保険年金課 堀田紫津子、 佐屋苑地域包括支援センター 水谷幸代、社協地域包括支援センター 渡辺秀 和、社協佐織地域包括支援センター 中野重利
協議事項等	会議内容 （1）高齢者の地域課題（移動手段）について （2）その他
公開/非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	1人
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・愛西市地域ケア推進会議名簿 ・資料 高齢者の地域課題（移動手段）解決のための検討 ・参考資料1 八開地区協議体～茶話会から始まる身近な情報生活支援～ ・参考資料2 買い物にいきたい

審議経過

発言者	内容
事務局	・開会 ・傍聴人の報告
委員長	委員長あいさつ それでは、次第に基づき議事を進行します。 議題（１）「高齢者の地域課題（移動手段）について」を議題とします。 事務局より説明をお願いします。
事務局	資料、参考資料１、２に基づき、事務局より説明。
委員長	それでは事務局からのご説明に関しまして、まずご質問や確認しておきたい点等ありますか。 ２ページの具体策のところ、「巡回バスに二次元コードを提示し、老人福祉センター、地域の病院や銀行等に冊子を置いていただく。」とはどういうことですか。それと、同じ２ページのところの必要な支援のところ、共同募金のテーマ型募金のお金の流れを教えてください。
事務局	高齢者ガイドブックが市民の目に行き届いていないという意見がありましたので、巡回バスに乗った方が二次元コードで情報を得ることができるようにしたり、老人福祉センターや病院に高齢者福祉ガイドブックを置いてもらうことです。
事務局	赤い羽根共同募金は、募金を一旦県の共同募金会に集約した後、翌年、市の社会福祉協議会に配分されます。テーマ型募金は、特化した目的を決め、募金をする期間を１～３月に設けています。愛西市は、買い物支援をテーマにしています。一般の募金は、市内の各世帯に、テーマ型募金は、会社や事業所をお願いします。
副委員長	介護予防のところ、リハビリネットワークをお願いしてサロンや出前講座をお願いできるのか知りたいです。
委員	愛西市の理学療法士は、講師の人数が増えてきておりますので、依頼があれば、できる体制は整っています。
副委員長	どうやって申し込んだら良いですか。
委員	窓口は愛西ガーデンの私になっています。
委員長	これから市民の方たちが介護予防をやるきっかけがありますね。 他に、ご質問はいかがでしょうか。お気づきの点やご意見ををお願いします。
委員	ネットスーパーが良いということは、わかりますが、高齢者が、今実際にどの程度使えているか私は把握できていないです。電話はかけられるが、ネットは使えるのかと思いました。

委員長	インターネットが使える人、苦手な人がありますので、どんな方法が考えられるか検討していく必要がありますね。インターネットの利用について、高齢者がどんな感じかご存じの方ありましたらお願いします。
委員	比較的若い方は使っています。やはり、高齢になると難しいので、ヘルパーを利用して一緒に頼んでいただいても良いと思います。
委員	ネットスーパーに関しては、やはりスマホを持っていない方がほとんどで、まず講習会を行うという具体策がありますが、好奇心旺盛な方は覚える意欲もありますが、高齢者になると、もう今更覚えるとか、面倒だというのがあります。ネットスーパーは、「自助」ができる自立している方しかできないと思います。 高齢者施設の人はなかなか自立されている人はいないので、個人でできることは難しいと思います。
委員長	施設にいる人たちは、買い物はどのようにしていますか。
委員	当施設には訪問介護事業所があるので、買い物代行を1週間に1回行っています。一緒に買い物に行く場合は、タクシーを頼んで連れていきます。ご自分の目で見えて買い物ができるので、喜んでくれますが1時間以上時間がかかるので、現実ちょっと難しいです。
委員長	ありがとうございます。買い物にも色々なタイプがありますね。移動方法を検討する中でどういったことを考えたか生活支援コーディネーターさんにもご意見いただきたいですがいかがでしょうか。
委員	昨日、八開地区の協議体がありまして、巡回バスの利用の話がありました。参考資料2は令和2年に作られたもので、協議体の皆さんと協力して作っていきたいと思います。
委員	地域で皆さんにお話を伺う中で、困っていると感じることは、買い物と通院です。買い物は、立田地区や八開地区は、近所の人に乘せてもらったり、家族に週1回来てもらって買い物をしているなど、今は困っていない人が多いです。しかし、5年後はわからないと言われる人もいて、移動が困る時代がやってくると思います。その中で、社会福祉協議会は買い物支援バスを走らせていますが、ドライバー1人、車両も1台しかなく、バスルートも20ぐらいあるので、一人月1回の利用となっています。今回、一部の地域ですが、佐屋苑が運行にご協力いただけることになりました。これから色々な事業所にご協力いただけると良いと思います。
委員長	今、佐屋苑に協力いただいているというお話でしたが、どんな協力をされていますか。
委員	社会福祉協議会の買い物支援バスは、利用者がいっぱいということなので、佐屋苑のある永和台で、車を出してコースを受け持ちます。社会福祉協議会が他のコースに少しでも取り組めるように進めているような状況です。

委員長	<p>ありがとうございました。前回の会議で話があって、それをきっかけに、新たな協力体制ができて、取り組んでいただけるとのことですね。</p> <p>移動について、他に何かこういったことができるのではないかとのご意見はありませんか。地域包括支援センターの方がいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>総合相談の中で運転免許証返納の相談を受けます。認知症の人が増えており、本人自ら返納するのが難しいので、家族が困っています。相談を受ける中で、運転に代わる代替案がないと運転をやめることが難しいと感じます。代替案として提案できる資源や、免許返納について考える集まりを増やすことが必要だと思います。これは住民同士で作っていくことも大事ですし、包括としてそれを支援していくことも課題になると思います。</p>
委員長	<p>他の地域包括支援センターにおいても運転免許証の返納について、相談を受けたことはありますか。</p>
事務局	<p>認知症で判断能力が衰えてきて、運転が危なくなってきたから運転免許証を返納させたいというご家族からの相談はあります。</p>
委員長	<p>ご家族、本人にとって運転免許証返納のタイミングというのも大きな課題ですね。他に移動ということで、感じていることがあれば教えてください。</p>
委員	<p>移動「手段」の検討をしています。目的があつての「手段」だと思います。今はかなり幅広い「手段」の話をしているため、なかなか具体的な案が出てこないと感じます。議論の仕方として、目的をはっきりさせて、それに対しての移動の手段を検討していくと意見が出やすいと思います。</p>
委員長	<p>通院とか買い物など、目的を絞った解決法の検討もあるのではないかとのご意見をいただきました。目的を絞り、「自助」「互助」「共助」「公助」の視点から、解決法の検討をしていけると良いと思いました。</p> <p>今日の総論としての検討に対して、今後各論について検討していけると良いと感じましたがいかがでしょうか。今後の検討方法として、事務局のほうで考えがあれば聞かせてください。</p>
事務局	<p>この先の進め方については、現状では白紙になっておりますので個人的な意見となりますが、今回の検討で、買い物の話がたくさん出たので、買い物についての課題をどのように改善していくか検討することは、先程いただいたご意見に沿うのではないかと思います。</p>
副委員長	<p>それに加えて、バスに一人では乗れないけれども付き添いや見守りサポートがあれば乗れるというような、何もかもは一人で出来ないけれども、見守りや介助を受けながらならできる人がいますのでそのような人が外出できる移動支援の仕組みづくりも必要だと思います。</p>
委員長	<p>前回は意見として出ましたが、個別性が高い移動の課題に対してタイプ別に検討するのも一つ、というご意見でしょうか。</p>
委員	<p>タイプ別もちろんです。通院や買い物について、例えば公民館を拠点として考えると、区域ごとに拠点を作って支援していくのも良いと思います。区域内</p>

	<p>の病院などで、昼間駐車場が空いている時間に駐車場を借りて移動スーパーに来てもらったり、通院のためのタクシーに拠点拠点で乗れるようにするなどが考えられます。拠点ごとに「誰かが何とかしてくれる場所」を作っていないといけないと思います。</p>
委員長	<p>個別性と地域性が高い検討が必要だと思いますし、タイプ別、区域別の分け方のようなことも話し合っていく必要があると感じました。難しい地域課題について地域包括支援センターはじめ事務局には具体策まで示していただいたことには感謝いたします。</p> <p>ケアマネジャーの立場ではどうでしょうか。</p>
委員	<p>シニアカーの活用について、免許返納後に活動範囲がそれまでよりずっと狭くなってしまい、認知症が進んでしまう人もいます。シニアカーが借りやすくなれば交友関係が続いたり、買い物にも自分で行ける等、活動性が維持できるので、結果として免許返納もしやすくなると思います。</p>
委員長	<p>以前見学した大阪の西成地区はシニアカーの利用率がとても高かったです。愛西市のシニアカーの普及率が上がり、利用したい人が利用できるようになると、高齢者の行動範囲が広がり、出かけられなかった人が出かけられるといったことに繋がっていくのではないかと感じました。他にはどうでしょうか。</p>
委員	<p>具体策の中で介護予防事業の充実としてサロンの立ち上げ支援をすると良いと思いました。また、先程の意見のように、移動スーパーが来たり、タクシーの乗り合い所になったり、ラジオ体操を開催することができるような拠点が市内に等間隔であると良いと思いました。</p>
委員長	<p>区域ごとにどのように拠点を作っていくか、これも検討事項になりますね。包括支援センターの方では他にはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>自分の経験した一つの事例を申し上げます。普段自分で運転をしている一人暮らしの人が、怪我をして買い物に行けなくなったという状況で、子供が遠方で頼れない中で買い物に連れて行ってくれたのは、何年も前から参加していた趣味のサークルのお友達であったという事例がありました。高齢になってからの繋がりづくりだけではなく、もっと若い頃から繋がりを作っていたことで、長い付き合いの中で助けてもらえたのかなと感じる事例でした。</p> <p>ちょっと今日の話から逸れるかもしれませんが、繋がりづくりというのが一つのポイントになるのかと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。皆さんのそれぞれの立場の意見から、新たな課題が出てきたことだと思います。今日いただいた意見として、買い物のこと、免許返納のタイミングのことの他に、新たに佐屋苑が移動支援に協力しているといった情報も得られました。他にご意見ご質問いかがですか。</p>
事務局	<p>今回の具体策発表にあたって、地域包括支援センター職員や生活支援コーディネーターと準備を進めていく中で、移動支援について、予防的視点から地域課題を考えたところがあります。機能低下された方の支援だけでなく、移</p>

	<p>動困難になることでより機能が低下することのないように、予防の視点でも取り組みを進めていけたら良いと考えておりますのでご理解いただければと思います。</p>
委員長	<p>予防の観点から検討していただいたということでした。今回の具体策については手段について非常に具体的な内容になっていると感じました。いただいた意見について、今後の取り組みや事業化については、地域ケア推進会議とは別の場で検討していくものですので、できることから順番にさせていただけたらと思います。地域包括支援センターの皆さんや生活支援コーディネーターの皆さんを始め、委員の皆さんには今回ご検討くださりましてありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。</p>
事務局	<p>今年度の会議は本日で終了となります。委員の皆様のご任期については今年度末をもちまして満了となります。これまで貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。</p>